



---

## NEWS RELEASE

---

平成21年2月13日

### 平成20年度第3四半期報告

フコクしんらい生命保険株式会社（本社：東京都港区白金台3-2-10、社長：大嶋 邦男）の平成20年度第3四半期の業績をお知らせします。

※資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

#### 目次

1. 主要業績	……	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3 頁
3. 四半期貸借対照表	……	5 頁
4. 四半期損益計算書	……	6 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	8 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	9 頁
7. 特別勘定の状況	……	9 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	9 頁
（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	……	9 頁
（参考）第3四半期会計期間の業績	……	10 頁

---

#### <お問い合わせ先>

フコクしんらい生命保険株式会社

〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10

経営企画部 企画グループ 長井・大河 TEL 03-5789-6751（ダイヤルイン）

**フコクしんらい生命保険株式会社**

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分		平成20年度第3四半期会計期間末				平成19年度末	
		件 数	前年度末比	金 額	前年度末比	件 数	金 額
個人 保 険	個人 保 険	82	101.5	6,907	97.5	81	7,085
	個人 年 金 保 険	31	202.8	1,024	232.7	15	440
個人 保 険 + 個人 年 金 保 険		113	117.7	7,931	105.4	96	7,525
団 体 保 険		—	—	4,326	100.5	—	4,306

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位:千件、億円)

平成20年度 第3四半期累計期間		新契約 + 転換による純増加		新契約	転換による 純増加
		件 数	金 額	金 額	金 額
個人 保 険	個人 保 険	6	424	424	—
	個人 年 金 保 険	16	609	609	—
個人 保 険 + 個人 年 金 保 険		23	1,034	1,034	—
団 体 保 険		—	14	14	—

(注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。

2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

## (2) 解約・失効契約高 (個人保険+個人年金保険)

・解約・失効契約高

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間
解 約 ・ 失 効 契 約 高	548
解 約 ・ 失 効 率	7.30

(注) 1. 失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

2. 平成20年度の第3四半期累計期間の解約・失効率は年換算しておりません。

### (3) 年換算保険料

・保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間末		平成19年度末
		前年度末比	
個 人 保 険	10,215	102.6	9,952
個 人 年 金 保 険	7,537	328.8	2,292
合 計	17,753	145.0	12,245
うち医療保障・生前給付保障等	1,872	98.4	1,903

・新契約

(単位:百万円)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間
個 人 保 険	979
個 人 年 金 保 険	5,378
合 計	6,358
うち医療保障・生前給付保障等	86

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

### (4) 主要収支項目

(単位:百万円)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間
保 険 料 等 収 入	71,371
資 産 運 用 収 益	2,090
保 険 金 等 支 払 金	5,865
資 産 運 用 費 用	531
経 常 利 益	260
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	277
当 期 純 利 益	△ 860

### (5) 総資産

(単位:百万円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間末		平成19年度末
		前年度末比	
総 資 産	143,638	175.4	81,897

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間末		平成19年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	5,673	4.0	2,966	3.6
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	133,509	92.9	74,549	91.0
公 社 債	130,910	91.1	70,914	86.6
株 式	1,071	0.7	2,114	2.6
外 国 証 券	134	0.1	177	0.2
公 社 債	134	0.1	177	0.2
株 式 等	—	—	—	—
その他の証券	1,393	1.0	1,343	1.6
貸付金	2,215	1.5	2,040	2.5
不動産	35	0.0	36	0.0
繰延税金資産	—	—	481	0.6
その他	2,204	1.5	1,823	2.2
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	143,638	100.0	81,897	100.0
うち外貨建資産	1	0.0	0	0.0

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区分	平成20年度第3四半期会計期間末					平成19年度末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	66,109	69,606	3,497	3,497	0	44,974	46,257	1,283	1,283	0
責任準備金対応債券	40,154	41,538	1,384	1,384	0	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	26,061	26,172	111	713	602	27,850	28,504	654	1,139	484
公社債	24,340	24,646	306	632	326	25,558	25,939	381	532	151
株式	1,177	1,071	△106	71	177	1,789	2,114	325	606	281
外国証券	133	134	1	1	—	200	177	△22	—	22
公社債	133	134	1	1	—	200	177	△22	—	22
株式等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	409	319	△90	8	98	302	273	△29	—	29
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	132,324	137,317	4,992	5,595	602	72,825	74,762	1,937	2,422	484
公社債	130,604	135,791	5,187	5,514	326	70,533	72,197	1,664	1,815	151
株式	1,177	1,071	△106	71	177	1,789	2,114	325	606	281
外国証券	133	134	1	1	—	200	177	△22	—	22
公社債	133	134	1	1	—	200	177	△22	—	22
株式等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	409	319	△90	8	98	302	273	△29	—	29
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、CD(譲渡性預金)等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでいます。

・時価のない有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区分	平成20年度 第3四半期会計期間末	平成19年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
その他の有価証券	1,073	1,070
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	1,073	1,070
合計	1,073	1,070

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円、%)

科目	平成20年度第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日現在)		平成19年度末要約貸借対照表 (平成20年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
現金及び預貯金	5,673	4.0	2,966	3.6
有価証券	133,509	92.9	74,549	91.0
(うち国債)	(60,030)		(43,730)	
(うち地方債)	(18,581)		(—)	
(うち社債)	(52,299)		(27,184)	
(うち株式)	(1,071)		(2,114)	
(うち外国証券)	(134)		(177)	
貸付金	2,215	1.5	2,040	2.5
保険約款貸付	2,215		2,040	
有形固定資産	80	0.1	92	0.1
無形固定資産	432	0.3	302	0.4
代理店貸	0	0.0	1	0.0
再保険貸	28	0.0	2	0.0
その他の資産	1,699	1.2	1,459	1.8
繰延税金資産	—	—	481	0.6
資産の部合計	143,638	100.0	81,897	100.0
(負債の部)				
保険契約準備金	133,431	92.9	72,029	87.9
支払準備金	574		657	
責任準備金	132,241		70,691	
契約者配当準備金	615		680	
代理店借	440	0.3	49	0.1
再保険借	39	0.0	36	0.0
その他の負債	1,692	1.2	611	0.7
未払法人税等	—		208	
その他の負債	1,692		403	
退職給付引当金	—	—	0	0.0
特別法上の準備金	139	0.1	110	0.1
価格変動準備金	139		110	
繰延税金負債	40	0.0	—	—
負債の部合計	135,783	94.5	72,835	88.9
(純資産の部)				
資本金	10,000	7.0	10,000	12.2
利益剰余金	△2,215	△1.5	△1,355	△1.7
その他利益剰余金	△2,215		△1,355	
繰越利益剰余金	△2,215		△1,355	
株主資本合計	7,784	5.4	8,644	10.6
その他有価証券評価差額金	70	0.0	417	0.5
評価・換算差額等合計	70	0.0	417	0.5
純資産の部合計	7,855	5.5	9,061	11.1
負債及び純資産の部合計	143,638	100.0	81,897	100.0

#### 4. 四半期損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	平成20年度第3四半期累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年12月31日まで)	
	金 額	百分比
経 常 収 益	73,650	100.0
保 険 料 等 収 入	71,371	96.9
(うち保険料)	(71,219)	
資 産 運 用 収 益	2,090	2.8
(うち利息及び配当金等収入)	(1,537)	
(うち有価証券売却益)	(552)	
そ の 他 経 常 収 益	188	0.3
経 常 費 用	73,389	99.6
保 険 金 等 支 払 金	5,865	8.0
(うち保険金)	(1,692)	
(うち年金)	(80)	
(うち給付金)	(661)	
(うち解約返戻金)	(3,178)	
(うちその他返戻金)	(83)	
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	61,551	83.6
責 任 準 備 金 繰 入 額	61,550	
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額	0	
資 産 運 用 費 用	531	0.7
(うち支払利息)	(0)	
(うち有価証券売却損)	(428)	
(うち有価証券評価損)	(102)	
事 業 費	5,008	6.8
そ の 他 経 常 費 用	433	0.6
経 常 利 益	260	0.4
特 別 損 失	28	0.0
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額	28	
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	28	
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	277	0.4
税 引 前 四 半 期 純 損 失	45	△ 0.1
法 人 税 及 び 住 民 税	95	0.1
法 人 税 等 調 整 額	718	1.0
四 半 期 純 損 失	860	△ 1.2

## 注 記 事 項

(四半期貸借対照表及び株主資本等変動計算書関係)

平成20年度第3四半期会計期間末	
1. 有形固定資産の減価償却累計額は61百万円であります。	
2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。	
イ. 前年度末現在高	680百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	342百万円
ハ. 利息による増加等	0百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	277百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	615百万円
3. 担保に供されている資産の額は、有価証券50百万円であります。	
4. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項	
(単位:株)	
	当四半期 会計期間末 株式数
発行済株式	
普通株式	200,000
合計	200,000

(四半期損益計算書関係)

平成20年度第3四半期累計期間
1. 1株あたり四半期純損失は4, 300円48銭であります。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成20年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	252
キャピタル収益	552
金銭の信託運用益	—
売買目的有価証券運用益	—
有価証券売却益	552
金融派生商品収益	—
為替差益	—
その他キャピタル収益	—
キャピタル費用	530
金銭の信託運用損	—
売買目的有価証券運用損	—
有価証券売却損	428
有価証券評価損	102
金融派生商品費用	—
為替差損	—
その他キャピタル費用	—
キャピタル損益 B	21
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	273
臨時収益	—
再保険収入	—
危険準備金戻入額	—
その他臨時収益	—
臨時費用	13
再保険料	—
危険準備金繰入額	13
個別貸倒引当金繰入額	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—
貸付金償却	—
その他臨時費用	—
臨時損益 C	△ 13
経常利益 A+B+C	260

〈参考〉基礎利益の内訳（三利源）

（単位：百万円）

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間
基礎利益(①+②+③)	252
① 費差	△ 1,092
② 危険差	1,141
③ 利差	203

- (注) 1. 「費差損益」は想定した事業費と実際に支出した事業費等の額との差から生じる利益(△は損)です。  
 2. 「危険差損益」は想定した保険金・給付金と実際に発生した支払額との差から生じる利益(△は損)です。  
 3. 「利差損益」は想定した運用収益と実際の運用収益との差から生じる利益(△は逆ざや)です。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円、%)

項目	平成20年度 第3四半期会計期間末	平成19年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	12,706	14,292
資本金等	7,643	8,644
価格変動準備金	139	110
危険準備金	978	965
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	99	589
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	3,494	3,632
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	350	350
リスクの合計額	1,381	1,097
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R1	635	642
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	129	132
予定利率リスク相当額 R2	52	43
資産運用リスク相当額 R3	1,030	669
経営管理リスク相当額 R4	55	44
最低保証リスク相当額 R7	—	—
ソルベンシー・マージン比率	1,839.1%	2,604.8%
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

該当ありません。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

## (参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当ありません。

(参考) 第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位:千件、億円)

平成20年度 第3四半期会計期間	新契約 +転換による純増加		新契約	転換による 純増加
	件数	金額	金額	金額
個人保険	2	160	160	—
個人年金保険	6	261	261	—
個人保険 + 個人年金保険	9	422	422	—
団体保険	—	10	10	—

(注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。

2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

・新契約年換算保険料

(単位:百万円)

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間
個人保険	315
個人年金保険	2,307
合 計	2,623
うち医療保障・生前給付保障等	31

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

・主要収支項目

(単位:百万円)

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間
保険料等収入	28,346
資産運用収益	1,026
保険金等支払金	2,325
資産運用費用	337
経常利益	162
契約者配当準備金繰入額	71
当期純利益	22

・損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	平成20年度第3四半期会計期間 (平成20年10月1日から 平成20年12月31日まで)	
	金 額	百分比
経常収益	29,496	100.0
保険料等収入 (うち保険料)	28,346 (28,316)	96.1
資産運用収益 (うち利息及び配当金等収入) (うち有価証券売却益)	1,026 (629) (397)	3.5
その他経常収益	123	0.4
経常費用	29,333	99.4
保険金等支払金 (うち保険金) (うち年金) (うち給付金) (うち解約返戻金) (うちその他返戻金)	2,325 (658) (39) (303) (1,197) (68)	7.9
責任準備金等繰入額 責任準備金繰入額 契約者配当金積立利息繰入額	24,708 24,708 0	83.8
資産運用費用 (うち支払利息) (うち有価証券売却損) (うち有価証券評価損)	337 (0) (302) (35)	1.1
事業費	1,752	5.9
その他経常費用	209	0.7
経常利益	162	0.6
特別損失 特別法上の準備金繰入額 価格変動準備金繰入額	4 4 4	0.0
契約者配当準備金繰入額	71	0.2
税引前四半期利益	86	0.3
法人税及び住民税	63	0.2
四半期純利益	22	0.1

・ 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成20年度 第3四半期会計期間
基礎利益 A	114
キャピタル収益	397
金銭の信託運用益	—
売買目的有価証券運用益	—
有価証券売却益	397
金融派生商品収益	—
為替差益	—
その他キャピタル収益	—
キャピタル費用	337
金銭の信託運用損	—
売買目的有価証券運用損	—
有価証券売却損	302
有価証券評価損	35
金融派生商品費用	—
為替差損	—
その他キャピタル費用	—
キャピタル損益 B	59
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	173
臨時収益	—
再保険収入	—
危険準備金戻入額	—
その他臨時収益	—
臨時費用	11
再保険料	—
危険準備金繰入額	11
個別貸倒引当金繰入額	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—
貸付金償却	—
その他臨時費用	—
臨時損益 C	△ 11
経常利益 A+B+C	162

〈参考〉基礎利益の内訳（三利源）

（単位：百万円）

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間
基礎利益(①+②+③)	114
① 費差	△ 283
② 危険差	303
③ 利差	94

- (注) 1. 「費差損益」は想定した事業費と実際に支出した事業費等の額との差から生じる利益(△は損)です。  
 2. 「危険差損益」は想定した保険金・給付金と実際に発生した支払額との差から生じる利益(△は損)です。  
 3. 「利差損益」は想定した運用収益と実際の運用収益との差から生じる利益(△は逆ざや)です。